

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム橙園

(ユニット名) 水仙

記入者(管理者)  
氏名 有馬房子

評価完了日 平成 20 年 11 月 30日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			業務カンファレンスの時など地域密着型サービスの意義の勉強会などを聞き職員全員で確認している。地域と事業所との関係性を常に意識し理念をつくりあげている。		
			(外部評価)		
			事業所では、「人としての尊厳を守る介護」という理念を作成し、管理者は、開設当初から「地域に根ざした事業所でありたい」と考えておられ、「地域とのふれあい」を大切に取組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			ケア・業務カンファレンスの時では、理念「人としての尊厳を守る介護」の実践に向けてのプランの話し合い、一人一人の個性を大切に守る介護を実行している。		
			(外部評価)		
			事業所の理念を、玄関や事務室等に掲げておられる。管理者は、職員に理念について話し、確認し合っておられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			地域の大掃除に参加したり、園の祭事(夏祭り)の参加の呼びかけなど、常に顔を合わす機会を作る様、工夫し努力している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 園庭が近所の方の通り道になっている為、朝は学生(中学生や高校生)と挨拶を交わす。買物帰りの方がサンボ中の利用者さんに声を掛けていただくこともある。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の盆踊り、秋祭りなどには必ず参加し、また、地域のふれあい市、文化祭等にも参加しており、文化祭には作品も出展している。秋祭りには事業所に保育園の子供達の訪問もある。 (外部評価) 地域の行事(盆踊り・お祭り・ふれあい市等)に出かけられたり、地元神社の掃除等、地域活動にも利用者と共に参加されている。又、みかんやお魚等をご近所の方からいただくこともある。近隣保育園の子ども達の訪問もある。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) キャラバンメイトの研修を受けた職員が、地域の老人クラブの方へ認知症についての話をしたり、また、そのような依頼があれば、気軽にお受けしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員それぞれが自己評価と真剣に向き合い、それぞれの考えなどを話し合い取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価は、職員全員で取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、この一年間も、さらに地域に認知症の理解を広め、気軽に相談できる事業所を目指して取り組んでおられた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議から発進された内容をもとにして、鳥取でのグループホーム全国大会で意見発表をした。またそれを持ち帰り介護に反映している。		
			(外部評価)		
			会議には、老人会長、婦人会長等、地域の方の参加も多く、活発に意見交換をされている。「もっと地域に出かけてみてはどうか」というアドバイスをいただき、地域の婦人学級に利用者も共に参加され、防災頭巾作りをされた。県GH協議会の会長からは、事業所への感想もいただいた。年1回は、会議を地域の方達に公開する形で開催されている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村（地域包括支援センター）主催の研修には必ず参加し、職員の自己研鑽に努めサービスの質の向上に取り入れている。		
			(外部評価)		
			地域の方の相談を受けた際には、一緒に市の窓口相談に行かれたり、市の開催する講演会等にも積極的に出席されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			地域包括支援センター、その他事業者協議会などが主催する研修に参加して理解を深め、必要な時に支援が出来るよう努力している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			管理者より常に言われており、全職員周知徹底している。全職員に虐待防止のプリントなども配布されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居されたその日に利用者さん、御家族に時間をかけて、介護専門員、担当者より説明させて頂いている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) さわやか相談員の方が2名、毎月事業所を訪問され、利用者さんの様子を見学したり、話したりされている。]また、利用者さんの中には不満があるとすぐになじみの職員などに訴えている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族の方々面会に来られると、何か変わった事、今日一日のすごされかたを話している。健康状態はご家族来園時などに定期受診などの報告をし、発熱など突発的な時は電話にて報告している。金銭管理は担当者2名にて、職員異動は掲示にて行っている。		
			(外部評価) ご家族の来訪は多くあり、その都度報告をされている。又、電話でも細やかに報告をされている。ご家族の来訪時には、食事を一緒にすることも。月1回の請求書送付時には、本人の最近の写真と同封されている。		運営推進会議の資料として作っておられるホームの行事等を載せた「便り」を、ご家族にも届けられてはどうか。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 事業所の玄関に意見(苦情)箱を設置している。運営推進会議において、必ず意見などを話して頂く機会を作っている。ご家族のご面会時、なるべく時間を取っていただき話をして頂いている。		
			(外部評価) 運営推進会議には、ご家族の参加も多くあり、その際、意見をうかがうようにされている。		事業所では、ご家族の来訪時、気付かれたこと等を話しやすいよう、環境作りに一層努めていきたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ボーナス時の自己評価の際に、このような項目もあり全職員記入している。また意見や提案があれば、チームリーダーや直接管理者に伝えることもある。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の交代や時間の融通は、いつも取れるように、職員間で話し合い周知している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動がある時は、その利用者の担当者は引継ぎをきちんと行ない(ケアプランの確認なども行う)利用者の不安などを防ぐよう努力している。 (外部評価) 設立当初は退職もあったようだが、最近はほとんどないようだ。普段から両ユニットでの交流も多く、利用者と職員は顔なじみの関係が作られている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける機会をいただき、職員各々が研修を受講している。 (外部評価) 市主催の研修や県GH協議会主催の職員研修等、積極的に参加されている。研修受講後は、報告書を作成し、ミーティング時で他の職員にも周知されている。		研修は、勤務の休日に受講するようになっており、研修受講がむつかしい職員中にはおられる。事業所では、今後、外部研修に参加しやすい職場の環境作りに取り組みたいと話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			(外部評価)	市・県主催の研修などへ行く機会も多く、他の事業所の職員とも話す機会が多い。年中行事や、運営推進会議で相互に連絡をするなど交流している。	
			地域の他グループホームとお花見に出かけられたり、夏祭り等でも交流されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			(外部評価)	アンケートをとり、職員のストレスや悩みを把握し、ストレス解消に向けての話し合いなどをした。また、年に一度メンタル面の健診なども施行されている。	
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			(外部評価)	管理者は職員個々の仕事面・努力面などしっかりよく見て、それなりの判断をしている。職員の能力にあった研修に参加させている。	
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			(外部評価)	利用前の事前面談をしっかりと行っている。(ケアマネ、看護職員、介護職員など同行)本人ご自身、ご家族よりしっかりと話を聞く機会をつくっている。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族が面会に来られた時、職員も一緒に同席させて頂き、現状をお話し、また疑問点については何人もの職員に加わってもらい、解決方法を見出す様努力している。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けたとき、本人やご家族の思い状況などをしっかり確認し、また相談などを繰り返す中で、信頼関係を持ち、適切なサービスを利用して頂けるよう努めている。グループホームを希望していても、デイサービス利用となることもある。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) ご本人が安心されるよう職員が寄り添い、声かけするよう心掛けている。またご家族も度々の面会を通して、安心して頂いたり、ご本人に関する情報を職員に伝えて頂くように工夫している。 (外部評価) 併設デイサービスを利用されている方が入居に至ることも多い。入居前にはご本人やご家族を訪ね、ゆっくりお話をされている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 声かけをし、一緒に洗濯物たたみや、食材切り盛り付けなど共にしている。また、声かけをしなくても自らすすんで新聞折りをされたりすることもある。 (外部評価) 事業所では、「常に利用者の思いを大切に」利用者に寄り添うようにされている。事業所の前には果樹園や畑があり、職員は、利用者やご家族に教えていただきながら、共にみかんや野菜作りをされている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者に一日一日穏やかに過ごして頂く様、笑顔がよく見られる様、声かけや会話を工夫し、楽しみながら共にしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事があれば声をかけ、一緒に楽しんでもらえる様努めている。楽しんでいる際の写真をとり、家族さんに写真を渡したり、本人の居室に貼ったりしている		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 面会も度々来ていただき、お祭りやその他の行事などにも声をかけさせていただく等支援に努めていると思う。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 共同作業やレクレーションに誘導し、出来ることへの参加で他の人と交わるよう働きかけている。しかし、孤立してしまっている利用者があるときもある。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 他の施設へ移られた方など、その施設より利用者さんの様子など(写真や手紙で)送っていただくことがあった。グループホームを退所され居宅になった方が、当該のデイサービスを利用されており、グループホームとも交流している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			ケアカンファレンスを利用し職員全員で利用者の把握に努めていると思う。本人の思い(外出希望など)を大切にしたプランをたてている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者一人ひとりの希望を大切に聞き取り、外出や併設デイサービスでの体操等、楽しめるよう取り組んでおられる。		管理者は、利用者の生活歴やご家族の希望、思い等をよく把握しておられるが、職員が日々、利用者とかかわる中で得た情報についても蓄積していかれてはどうか。さらに、利用者主体の支援につなげていかれてほしい。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者さんのサマリー、その他その方の情報をしっかり把握し、日々の生活の中、また会話の中に生活歴や馴染みの暮らしを反映させている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			自分ができることをする事で、自信を持ち、楽しい生活を保てるよう努力している。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			サービス担当者会議、ケアカンファレンスを月に一度開き、みんなで話し合い介護計画を作成している。		
			(外部評価)		
			ご家族の来訪時に、計画内容等について話し合われたり、ケアカンファレンスにご家族も参加され、話し合うようなこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			利用者一人に対して、3ヶ月に一度ケアカンファレンスを開き、モニタリングを行い状況の変化があった場合は新たな計画を作成している。この間で補足的介護が生じた場合は暫時的に介護計画の見直しをしている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月に1回見直しをされている。又、状態の変化があった場合は、その都度見直しをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			毎日の記録(全利用者用)と各個人の記録をしている。毎日の申し送りを利用者に必要な対応を話し合っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			グループホームの利用者さんが、デイサービスの体操に参加したり、デイサービスの利用者さんがグループホームの行事に参加されたりしている。グループホームを退居された利用者さんが毎日デイサービスに通われている。		
			(外部評価)		
			併設のデイサービスでの催しに、希望に応じて参加されている。お孫さんの結婚式や知り合いの方のお通夜に出席される方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域行事に参加し、その月内にいろいろなボランティアさん(大正琴、民謡、音楽療法、読み聞かせなど)が来られ、集まり、楽しんでもらえる様協力して頂いている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 御本人の意向でグループホームを退所させる際、(一人暮らしのため)ケアマネジャー、ヘルパーなどと話し合い事前外泊なども試みるなど支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 担当・居宅支援事業所・社協との連携で、権利擁護利用者の退居手続きや介護度区分変更の相談や手続きを行った。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者さんの入所前のかかりつけ医が、入所後もそのままかかりつけ医となっている。受診の際は、看護師、介護職員、家族などが同行している。  (外部評価) 利用者は、かかりつけ医に診てもらっているが、事業所では、入院に対応していただける病院との提携も図っておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に関しての生活上の指示、処方などその時に応じて変動もあり、受診したり往診していただいたり通常に連携を図っている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 日々の申し送りは、看護職がリーダーとなって連携している。様子がいつもと違う場合は、すぐ看護職員に報告している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) ご利用者さんが入院された場合は、定期的に見舞い、その際病院関係者との情報交換をしっかり行い、いつも状況を把握するよう努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 生活状況において、治療優先の状況になれば、医師・家族と十分に話し合い、経過・結果は介護職員に周知するようになっている。 (外部評価) 事業所で最期までお願いしたいと希望される利用者・ご家族もあり、事業所では、研修等で知識を深め、ご家族とも話し合い支援されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ケアカンファレンスなどを通して、しっかり支援できるように話し合っている。また、急変時のマニュアルを作り、職員全員が医師の指示のもと、周知徹底して取り組んでいる。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) グループホームから退所し、自宅での生活に変わる際、何度か外泊し、ダメージ防止を図った。また居宅介護のスタッフの方と話し合い、必要な情報を伝える。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			声かけする時の言葉遣いなど気をつけている。使用には同意書をいただいております、その都度御家族にも了承して頂いている。		
			(外部評価)		
			職員は、トイレの誘導や居室に入る際等、利用者個々のプライバシーを守ることに気を付けておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			一人一人にあったやり方（作業や脳リハ）で職員がそばにつき、一緒に行っている。日常生活の決定には本人の意向を十分にくみ取り家族にも話しできるだけ願いがかなうよう支援している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			ケアカンファレンスにて話し合い、またモニタリング、担当者会議を通して、ケアプランの見直しをし、そのケアプランに添ってその方らしい暮らしを支援している。		
			(外部評価)		
			睡眠や散歩、デイサービスでの体操等、職員は、利用者それぞれの体調等も見ながら、生活のリズムを大切に支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 出かけられる方は理容・美容はなじみの店に出かけている。出かけたり出来ない方は、ホームでできるよう努めている。起床時、着替え整容をできるだけ本人の好みに仕上げることも、介護のうちと認識している。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 野菜を切っていたり、盛り付け、食後の食器拭きを手伝っていただいている。  (外部評価) 食事の盛り付けをされたり、食後、食器を拭いておられる利用者がうかがた。ご自分の馴染みの食器を使っておられる方もある。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒は行事ごとしてしか出されていないが、飲み物は御本人の嗜好を大切にしている。おやつなどもなるべく希望に添えるよう努力している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 特に介護が必要な利用者さんの排泄パターンを理解しようとし、それに応じてトイレ誘導を行おうと努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			一日おきの入浴を実施している。一番に入りたい方、二番目がいい方など、希望に沿えるように努力している。歌の好きな方などは、浴室で職員と一緒に大きな声で歌ったり楽しみながらの入浴を心掛けている。		
			(外部評価)		
			気持よく入浴していただけるよう、利用者へ声をかけるタイミング等に工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			特に夜間帯はそれぞれの睡眠のパターンがあり、職員はそれぞれ一人一人にあわせた対応をしている。(一週間に一度のシーツ交換にて、寝具の清潔を保っている)		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			配膳の用意、盛り付け、食器拭き、掃除機かけ、食材切り、洗濯物干し、洗濯物たたみなど、無理のない程度にお手伝いをお願いしている。デイに体操に行ったり、園内を散歩したり、昼寝をしたり、ボランティアの訪問(読み聞かせ、三味線、大正琴)を楽しみにされている。		
			(外部評価)		
			調査訪問時、ボランティアによる「読み聞かせの会」が行われ、利用者は、一緒に歌を歌う等、楽しんでおられた。畑で野菜作りをされる方もいる。近くの神社にお参りされている方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買物に行った際、本人と一緒に金の計算をし、自分で買ったということを実感していただくよう(店員さんに品物、お金を手渡すなど)支援している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	<p>日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>自分の家に送られてくる書類の点検で家に帰ったり、通帳の記帳に銀行に行ったり、散髪、カットなど 近所との話し合い、子供の帰省で外泊したり理由で園外に出る支援は多くある。</p>		
			(外部評価)		
			<p>近所のマーケットに買い物に出かけられたり、月1回行われる地域のフリーマーケットや、季節ごとにお花見等にも行かれている。</p>		
62		<p>普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	(自己評価)		
			<p>お花見には近くの公園へ、ドライブに大洲のフラワーパークへ、お祭りに八幡神社へ、文化祭見学、ふれあい市などなるべく外出の機会を多く持てるよう支援してる。</p>		
63		<p>電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	(自己評価)		
			<p>家族の方から電話がかかってきた場合は、取次ぎの支援をし、こちらからかける際（散髪に行きたいなど）は、家族に事情を話したりと、家族と本人のコミュニケーションがうまくいくよう援助している。</p>		
64		<p>家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	(自己評価)		
			<p>面会の方が来られたら、話しやすい場所（居室など）へ案内し気兼ねなくゆっくり話などしていただけるよう配慮している。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束は全くない。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) その日の状況により、安全を守るため玄関に鍵をかけることはあるが、常ではない。 (外部評価) 日中は、ほとんど鍵はかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼間は職員一人一人が気をつけ職員間で声かけし（外へ散歩に出られる利用者）その方の所在、様子を把握しあっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) ある方ははさみを持参されている。爪切りを持参していて、自分の爪を自由に切っておられる方もある。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) リスクマネジメントなどの研修に参加し学んでいる。防災係を中心に避難訓練・防火訓練など実施しており、マニュアルも作成している。特に食事時は誤嚥しないよう見守りをしている。ヒヤリハットでの話し合いを大切にしています。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時のマニュアルなど備えている。そのマニュアルに添って行動・連絡などに移るよう周知徹底している。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難場所は身近にあり、年二回は消防署も入って訓練を行っている。地区の訓練にも利用者と一緒に参加している。 (外部評価) 消防署の協力を得て、防災訓練を行っておられ、地域の区長や老人会長の方にも参加をいただいている。夜間を想定した訓練も行われた。消防署からは、「最近はずいぶん避難に要する時間が早まった」と感想をいただいた。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) サービス担当者会議のとき、御家族に参加していただき、ケアプランの説明などと共にリスクなどについても説明し、また、ご家族の方からも意見を述べて頂いている。予測されるリスクは、前もって家族との話し合いで連携しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 何か変化があれば他のスタッフ、看護師に報告する。変化までの情報(本人の様子)を伝え、その状態にあった対応に応じて介助などに努めている。毎朝、夕、申し送り全員に周知している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬時には利用者に合った飲み方を支援し、症状の変化があったときには、すぐに看護師に報告するようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分補給量の確認、野菜や果物、繊維の多いもの、朝の冷水と色々工夫していますが、ダメなものは看護師に報告し下剤内服、浣腸をする場合もある。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後口腔清潔(入れ歯洗浄・舌)をしていただくよう声かけ行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 糖尿病のある利用者には、味を薄め、量も減らし、水分には常に気を配り、不足しないよう心掛けている。 (外部評価) 献立は、併設デイサービスの栄養士が立てており、事業所で食事作りをされている。利用者の状態に応じてとろみをつけたり、薄味に心がけておられる。水分も食事の際になるべく多く取っていただくよう努めている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 外出した際にはうがい、手洗いをする様声かけし、誘導している。また、インフルエンザの予防接種は利用者全員に行っている。(Drの判断でないほうがいと判断された方は、実施していない)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価) 調理器具、食器などは洗ったあと、酸性水に漬け込むようにしている。冷蔵庫も汚れを見つけた際には掃除をし、一週間に一度は全体をきれいにしている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> (1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) 園庭の花畑には、四季折々の花を育てている。玄関・エントランスには観葉植物を置いたり、玄関内には展示物を飾ったり、生け花などでお客様をお迎えしている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングの掲示板にはご利用者さんの活動の様子の写真や、手作りカレンダーを掲示したり、居室が並ぶ廊下には季節の花を配って飾り（造花だが）ご利用者さんに楽しんで頂いている。園庭の草花なども花瓶に生けている。</p> <p>(外部評価) 昼食後には、ソファでくつろいでテレビを見ておられる方がうかがえた。壁には手作りのカレンダーや、行事の際の写真等も飾られていた。調査訪問時には、クリスマスツリーも置かれていた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価) リビングには3つのゆったりとしたソファがあり、皆さんが思い思いに座り、くつろがれている。座敷の上上がり寝転んだり、作業をされたりするご利用者の方もある。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			ベットを使用されたり、畳の上に直接布団を使用されたりと、本人さんの状態にあった方法で暮らしていただいている。タンス・物入れなどは家から使い慣れたものを持っていただいたりしている。		
			(外部評価)		
			畳の部屋・フローリングの部屋で選べるようになっていいる。お孫さんの写真や、習字の短冊を飾っておられる方もあった。ご自分のたんすや椅子を持ちこんでおられる方もいいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			天気の良いときは窓を開け、常に換気には気をつけていいる。冷暖房による温度調節もしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			リビング・廊下には手すりがあり、移動のとき使用している。一人一人に応じた使い方をしている。トイレなども手すり・ポールが何箇所もあるため、自分に適したものを利用し、自立出来ている方もある。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			どのような工夫をしたら、一人ひとりのそれぞれの力を出してもらえるか、ケアカンファレンスなどで話し合い、お一人お一人の不安などを取り除き安心できるよう工夫している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関前の中庭はそうめん流し、バーベキュー、お月見会などの行事に利用している。駐車場は盆踊り大会の時には会場になる。また中庭は、秋祭りのときは保育園の園児達がお祭りごっこをしたり、地域の方々による「五つ鹿」を披露して頂く場にもなっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	職員自身は本当に懸命に利用者さんの思いや願いに近づきたいと思い努力しているつもりだが、実際利用者さんはどう思っているのか、どう感じているのか全て掴んでいるとは言えないので。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ② 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	職員はいつもこう考えながらこうしたいと思いながら利用者さんと接しているが、日々業務に追われ、また介護度により関わり方にばらつきがあるのも職員は気にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床時間、就寝時間、食事時間、その方のペースに応じた時間をプランにあげている。1日の過ごし方もお一人お一人のペースを保っている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者一人一人のケアプランに添った支援をすることで生き生きしたいいい表情を見せて下さる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	お花見など年間の大きな行事にはほぼ全員が参加できているが、ショッピングやドライブなどは、やはり全員は参加できていない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護職員による服薬管理、毎日のバイタルチェック、事業所と医療機関との連携、看護職員と介護職員との協働により、利用者は不安なく過ごせている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者一人一人のその時々要望や要求、また不満などを聞き、その人なりの支援をすることにより楽しく安心な暮らしができています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	御家族が面会に来られた時は声をかけ、意見や要望などを聞くようにしています。信頼関係は保たれていると信じています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	何組かのボランティアの方や、さわやか相談員、老人会の方々の訪問がある。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 ② 2 少しずつ増えている 評価) ③ 3 あまり増えていない ④ 4 全くいない	運営推進会議に参加されていた老人クラブの方よりキャラバンメイトの要請があったり、地方行事の参加を促して頂いたりということがある。また、この事はグループホーム全国大会(鳥取)にて発表した。
98	②職員の2/3くらいが (自己 ③ 3 職員の1/3くらいが 評価) ④ 4 ほとんどいない	業務や介護が優先になると記録が時間外になったりする事が多く、また休みに研修に参加することもあり、疲れている職員もいる。ストレスを抱えている職員もいる様子。
99	②利用者の2/3くらいが (自己 ③ 3 利用者の1/3くらいが 評価) ④ 4 ほとんどいない	職員は毎日誠心誠意介護しているが、利用者さん側から見ると、家に帰りたとか、行きたいところがあったり、したいことがあったり、それぞれの思いがあると思う。
100	②家族等の2/3くらいが (自己 ③ 3 家族等の1/3くらいが 評価) ④ 4 ほとんどできていない	家族さんの中には「家ではこうしていた」「こうして欲しい」等々の注文も時々あるが、ほとんどの家族さんは満足されていると思う。

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

橙園の介護理念である『心身の障害があっても、私らしく、あなたらしく、心豊かに 人としての尊厳を守る介護』をもとに、職員全員が真面目に日々の介護に取り組んでいる。

日々の記録についても見直し、独自のものを作成し「活動表」として利用者さんの24時間の行動が一目でわかるようになっている。それをもとに介護記録に記入する。(介護記録には利用者さんの発した言葉なども記入し状況に応じて詳しい説明を付け加える。)モニタリング、日課表作り、ケアプランの見直しもケアマネの指導の下担当者を中心に職員全員も関わり、介護に反映している。

看護職員、介護職員の連携がしっかりしており、協働して利用者さんの医療面、衛生面をサポートしている。利用者さんに小さな変化があればすぐに看護職員に伝え、指示を仰ぐよう周知徹底している。